



その人に合った方法で コミュニケーションをとろう

障がいの特性に応じて様々なコミュニケーション方法があることを知り、
思いやりをもって会話することを心がけましょう。

障がいの特性に応じたコミュニケーション手段

※ここで示すものは、あくまで一例です。

視覚障がいのある方

やさしく話しかける、
点字、拡大文字など。



聴覚障がいのある方

手話言語、筆談(文字)、
身振り、要約筆記など。



盲ろう者

(視覚と聴覚の両方に障がいのある方)

触手話、指点字、手のひら
に指先で文字を書くなど。



言語機能、音声機能に 障がいのある方

ゆっくりと発声してもらい、
内容を繰り返し聞く。



知的障がいのある方

わかりやすい表現を使い、
短い文章でゆっくりと伝える。

精神障がいのある方

落ち着かせて不安を取り除き、
具体的な表現でゆっくりと伝える。

発達障がいのある方

絵や写真を用いながら、
短い文章で穏やかに伝える。

